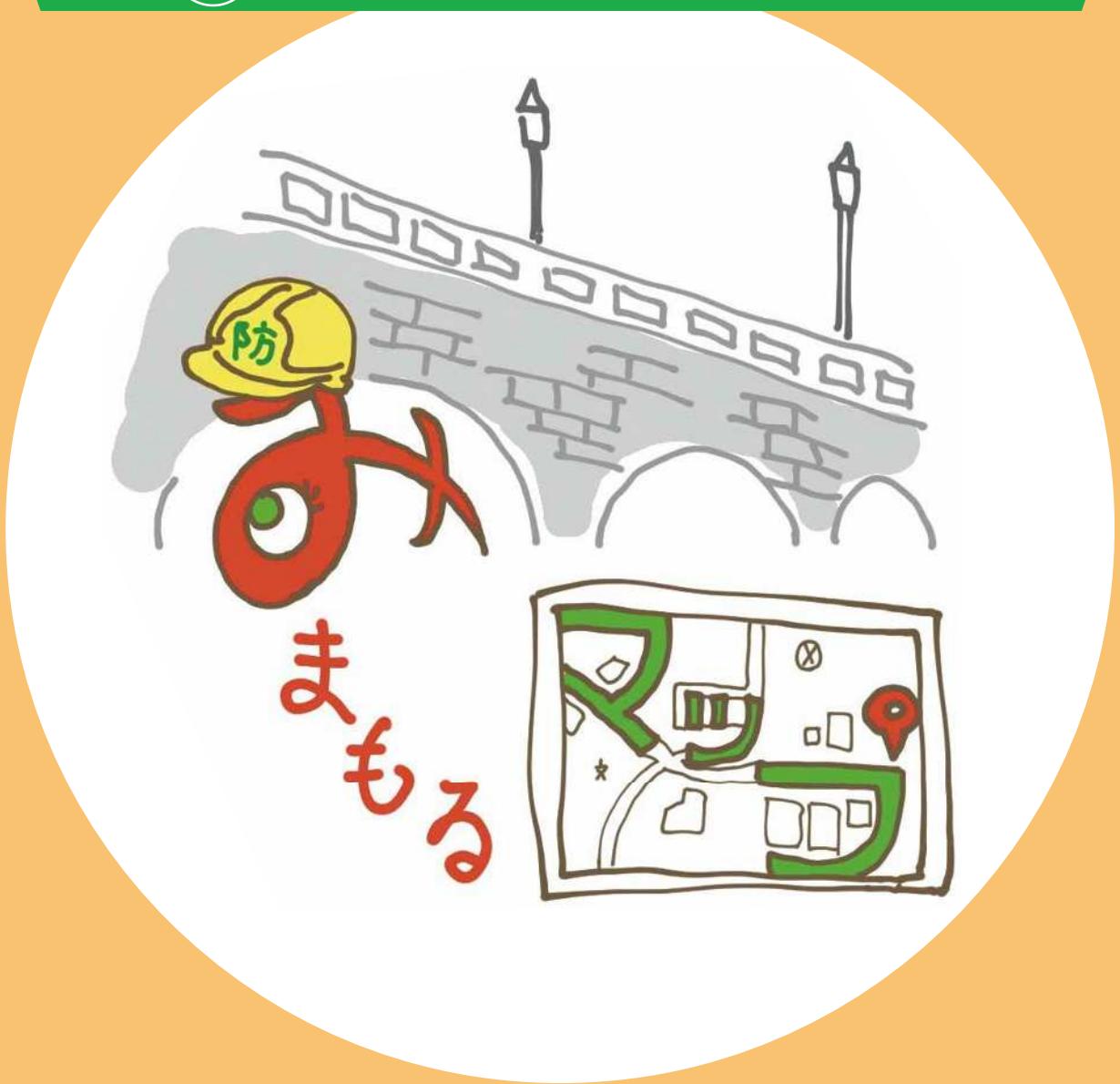


新潟の歴史から学ぶ 防災まち歩き

～みまもるマップをつくる～



中央区自治協議会
第3部会

はじめに

中央区自治協議会第3部会では、教育現場で地域の歴史や防災に関わる授業が必須となっているなか、その取組みについてはまだまだ実績が少ない状況を課題ととらえ、実践例を小学校の先生に提示することで、子どもたちへの学習に役立ててもうことができるよう本書を作成しました。

本書には授業の流れや参考文献、必要な道具などを例示しておりますので、各学校に応じて作り変えながら歴史・防災授業にご活用ください。

子どもたちに身につく力

- (1) 地域の状況を知ることができる
- (2) 防災や地域の歴史への関心を高められる
- (3) 子どもたちの情報収集能力、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力が養える
- (4) 地域の問題点を発見し、その解決策を話し合うことができる
- (5) 子どもたちが地域の防災の担い手となっていくきっかけになる

子どもたちへのメッセージ

自分たちの住む地域を改めて注意しながら歩くことで、普段気づかない地域の長所・短所を **み**つけましょう。

地域の中の避難所・防災施設・危険箇所や史跡・歴史的建造物などを探し、災害を他人事でなく自分も家族も被災するものだと意識し、一人ひとりが災害に備えることが大切です。また、地域の歴史を勉強し、郷土のよい所を **み**つけましょう。

※表紙のロゴマークにある **み**には、「見守る」「身を守る」「見つける」のほか、「見る」「看る」「観る」など様々な意味があります。

実施のながれ

1 学ぶ

- 地域の災害の歴史や歴史的建造物を資料などで学ぶ
- 防災士やシティガイドなどの専門家から話を聞く



2 調べる

- 実際にまちを歩いて調べる



3 作る

- 調べたことを書き込んだ
地図(みまもるマップ)を作る



4 まとめ

- まち歩きで学んだことを振り返り、
自分たちの住む地域の歴史を知るとともに、
災害に対する準備をする



1 学ぶ

地域の災害の歴史や歴史的建造物を資料などで学ぶ
防災士やシティガイドなどの専門家から話を聞く

実践例

- 防災士の講義(資料集・スライド・映像など)
- 新潟シティガイドの資料を活用
- みなとぴあガイドからの説明(映像など)

相談先

- 新潟市防災士の会 中央区支部(中央区総務課内) TEL 025-223-7064
- 新潟シティガイド事務局 TEL 090-1807-3013
- 新潟市歴史博物館みなとぴあ TEL 025-225-6111

参考文献

資料編8・9ページ参照



2 調べる

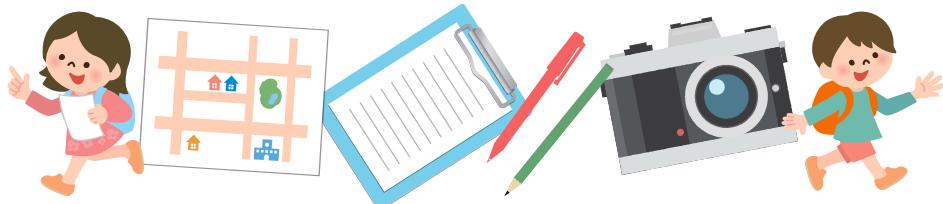
実際にまちを歩いて調べる

①やり方(まち歩きの事前準備)

- 班をつくり役割分担を決める(資料編10ページの「班名簿・役割分担表」を参照)
 - 歩く場所を決める
 - 「②まち歩きに必要なもの」を準備する
 - 「③まち歩きのポイント」を確認する

②まち歩きに必要なもの

- 地図
 - バインダー
 - 筆記用具
 - カメラ(班単位)
 - チェックリスト(資料編12ページの「チェックリスト」を参照)



③まち歩きのポイント 資料編12ページの「チェックリスト」をご参照ください

- 過去の災害時に被災した場所
 - 歴史的建造物や史跡、記念碑
 - 災害発生時や避難するときに危険と思われる場所
 - 防災関連施設や災害時に役立つ施設
 - その他、防災や歴史に関連する場所やもの

→役割に沿って自分が調べるポイントをよく確認する



3 作る

調べたことを書き込んだ
地図(みまもるマップ)を作る

① 地図(みまもるマップ)作りに準備するもの

- 地形図(白図)A1サイズ程度
- マーカー(4色)
- ふせん(4色)
- 筆記用具
- まち歩きでメモした地図やチェックリスト
- まち歩きで撮影した写真

地形図(白図)は市HPより
ダウンロードできます



② 地図(みまもるマップ)作り

(1) 地図にマーカーで色を付ける

- 青マーカー 防災関連施設や災害時に役立つ施設
- 赤マーカー 災害発生時や避難するときに危険と思われる場所
- 緑マーカー 史跡や歴史的建造物
- 黄マーカー 過去の被災した場所

(2) 上記の中で、特に重要なものについて説明を書いたふせんや写真を貼る



完成イメージ

⑥まもるマップ

新大まご迷子 (1964年)

市町境宮神社
新潟県長岡市から
うなぎ焼く家が3つ
と並んでいた。
井戸は本蔵は新潟帝
ガヨウ文化財

白山ポンプ場
新潟市の排水能力
を高めるため、新しい
ポンプ場を設けた。

県政記念館
明治16年(1883年)に
新潟県公議事堂として
建設された。
明治前期に建設され
議事堂とは現在別の地
方に建っている。国指定重要文化財である。

(第3部会 製作)



4 まとめ

まち歩きで学んだことを振り返り、自分たちの住む地域の歴史を知るとともに、災害に対する準備をする

①振り返り

- 班ごとに自分が発見したもの、初めて聞いたり知ったことや感じたことを話し合う
- クラス全員に発表する



②活用方法例

- 災害に備えた事前の心構えや災害発生時の避難の方法など家族と話し合う
- 自分たちの住む地域の歴史や文化について、学んだり、調べたことを周りの人々に伝える
- 地域の人にも作成したマップや気づいたことなどを発信する

応用編 災害が起きたときに備えて、どのような行動をとるべきか考えてみる

家族防災
会議を
ひらこう



マイ・タイム
ラインを作
ってみよう



災害被害を
軽減する備えに
ついて考えよう



避難生活で
気を付ける
こととは



資料編

参考文献

令和3年3月現在

市内の災害について

新潟市の避難

ハザードマップと避難場所

新潟市HP



なるほど信濃川

信濃川の紹介と過去の災害

信濃川河川事務所HP



新潟地震

当時の被害や記録写真

防災科学技術研究所HP



新潟県内の液状化

しやすさマップ

国土交通省
地方整備局
HP



地震・津波のメカニズムについて

地震のメカニズム

内閣府HP



津波のメカニズム

国土交通省
HP



市内の歴史について

新潟シティガイド
まち歩きポイントの紹介

新潟
シティガイド
HP



新潟の歴史
古代～現代まで

新潟市HP



新潟市の文化財
主要な文化財の紹介と一覧

新潟市HP



10～13ページは
切り取って
使用することができます
ぜひご活用ください



班名簿・役割分担表

()班

係	担当する役割	氏名
班長	参加者の意識が高まるように心がける。交通安全に注意し、みんなを誘導する。	
カメラ係	点検係のチェックした箇所を撮影する。地図に撮影箇所を記入する。	
点検係①	過去の災害時に被災した場所、災害発生時や避難するときに危険と思われる場所を見つけてマップに書き込む。	
点検係②	歴史的建造物や史跡、記念碑を見つけてマップに書き込む。	
点検係③	防災関連施設や災害時に役立つ施設を見つけてマップに書き込む。	
点検係④	その他の防災や歴史に関するものを見つけてマップに書き込む。	

班名簿・役割分担表

()班

係	担当する役割	氏名

チェックリスト(地図に盛り込む情報)

区分	図面表示	施設例	メモ欄
避難施設	最終避難所	避	小学校、中学校、公民館、 コミュニティセンター、 コミュニティハウス、集会場など
	一時避難場所	一時	地域で指定された場所
	広い空間	広	公園、広場、駐車場
	高い場所	高	高台、避難可能な3階以上の建物
防災施設及び災害時に役立つ施設	火	消防署、出張所	
	消	消火栓、消火器、消防分団資材置場	
	防	防災資機材の置場	
	交	警察署、交番	
	病	病院、医院	
	店	コンビニエンスストア、スーパー、薬局	
	電	公衆電話	
	ト	公衆トイレ	
	➡	障害物が少なく避難に適した広い道	
	A	AED(自動体外式除細動器)設置場所	
	G	ガソリンスタンド	
	海	海拔標識	
危険箇所	ガ	崩れそうな急傾斜地、ガケ地	
	低	浸水の危険がある低地	
	狭	狭い道、袋小路	
	ブ	崩れそうな古いブロック塀	
	水路	危険な用排水路、小川	
その他	歴	歴史的建造物	
	史	史跡	
	記	記念碑、モニュメント	
	災	過去に災害があった場所	

チェックリスト(地図に盛り込む情報)

新潟の歴史から学ぶ防災まち歩き

～みまもるマップをつくる～

発行日 令和3年3月

発 行 新潟市中央区自治協議会

担 当 第3部会

後藤知恵(部会長)、高橋誠一(副部会長)、日野浦律子、玉木彰、昆好美、

高田順一、三膳典子、田村千恵子、目黒信雄、小野塚昭美、西潟清二、桐生信子

事務局 新潟市中央区役所地域課

新潟市中央区西堀通6番町866番地 NEXT21 5階

TEL:025-223-7023 FAX:025-223-3660

メール:chiiki.c@city.niigata.lg.jp

